

海

SEAプレート

～1技法作り方～



ver.2024.12.13

エポキシレジンとは？

エポキシレジンとは「**主剤**」と「**硬化剤**」の2液を混ぜて化学反応により硬化させる樹脂のこと

-----※硬化不良を防ぐ※-----



注意点①

比率を間違えない

注意点②

よく混ぜる



※取り扱う際※



手袋&エプロン
着用



換気
or
マスク着用



作業台に
ビニールシート

★3種類のレジン★

波専用レジン



混合比 **2:1**
主剤 硬化剤

硬化時間 **25°C 2日間**

適応作品 波アート等
の薄い作品

クリスタルモールドレジン



混合比 **3:1**
主剤 硬化剤

硬化時間 **23°C 3日間**

適応作品 トレーやキューブ等
の分厚い作品

コーティングレジン



混合比 **4:3**
主剤 硬化剤

硬化時間 **23°C 3日間**

使用用途 作品の
コーティング

用意するもの



材料

■波専用レジン ■シュプリームホワイト ■Cell Add ■板(B5) ■着色剤 (エポキシアートキットにはアクリル絵の具在中) ■ラメ(対面レッスン限定)

道具

電子スケール ヒートガン 非接触型温度計 ガストーチ はさみ スポイト
ビニール手袋 紙コップ(150ml・60ml) 混ぜ棒(太・細) カバー箱
マスキングテープor(対面レッスンで複雑な形の板に変更の場合)Resin off+布

★作り方★

①板の裏にマスキングテープを貼る

流したレジンが裏面に付かない様、マスキングテープを貼る。

※エポキシアートキットに入っている板には既にマステ貼り済み

※対面レッスンの場合+¥1800でMDFのMサイズに変更可(複雑な形の場合は、Resin off使用)



～机が平行であることを事前に確認～

②レジン进行混ぜる

主剤2：硬化剤1の割合で波専用レジン进行混ぜる。

レジン使用量90gの場合(主剤60g:硬化剤30g)

気泡が入らない様にゆっくりと混ぜ、濁りがなくなるまでしっかりと混ぜる。





③ レジンの粘度をつける

レジンの硬化熱でレジン温度が**40~45度**くらいになるまで放置する。
※寒いとレジンの硬化は遅く、暑いと硬化が早い
※目安：室温25度で15分~20分程度
化学反応が遅い時(気温が低い)はヒートガンでレジン进行を温める。
その場合、使用したい温度より3度くらい低い温度に温めて、
1~2分後に計測。温度が基準に入ったら次の工程へ。



④ レジンを3つに分ける

紙コップに白波用レジン进行を10g取り分ける。
残った80gのレジン进行を2等分(海色用)にする。



⑤ レジンに着色剂を混ぜる

白波用レジンにはシュプリームホワイト(大豆1個分くらい)を混ぜる。青系の着色剂はレジン进行の硬化を早める性質があるので**青より遠い色から着色する。** 例) 白→緑→青
※色味の見方：カップに入ったままだと濃く見えるので混ぜ棒でレジン进行をすくい、棒上のレジン或は垂れるレジン进行の色を見る
※着色剂を混ぜてからは硬化が早いので注意
※(対面レッスン限定)ラメをレジン进行に混ぜてもOK



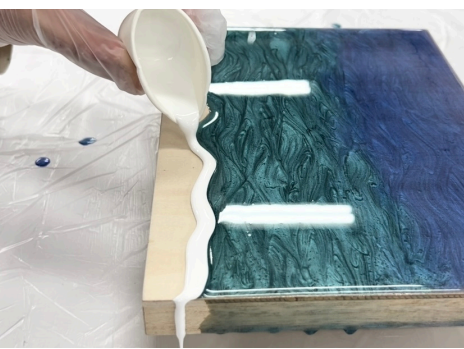
⑥ 粘度を確認し、板に海色レジン进行を流し込む

板の下に紙コップを置き、板を浮かせた状態で作業を行う。
※レジン进行を流す前に板ががたつかないか再確認
海色レジン进行を板に流し、棒や指でレジン进行を広げ隙间を埋める。
手前の色を流すときは、波の形も同時に作る。側面も忘れずに。
最後に、2色の間を左右に指で往復しグラデーションをかける。



⑦ 粘度を確認し、白レジン进行にCell Addを混ぜる

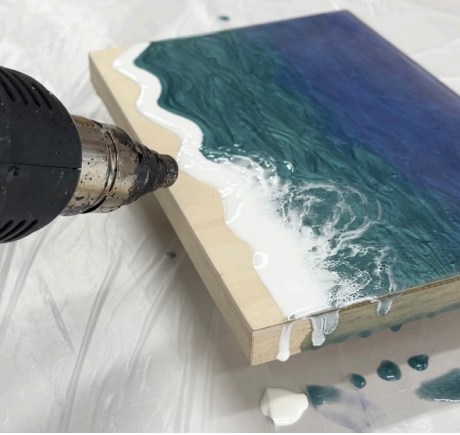
白レジン进行を**流す直前にCell Add**をスポイトで入れて混ぜる。
Point：Cell Addが揮発する際、波の網目模様を作る手助けをする
※レジン进行が緩い場合は少し待ち、粘度がついてからCell Add添加
※10gに対して4~6滴 (Cell Addの量は目安)
※粘度を高めたレジン进行がサラサラに戻らぬよう添加量注意
※Cell Addは揮発性が高いため、蓋はしっかり閉める



⑧ 白レジン进行を波打ち際のフチに流す

海色レジン进行と板の両方に被るように白レジン进行で一本線を描く。
※白レジン进行と海色レジン进行の間に隙间が出来ない様に流し、隙间が出来た場合は混ぜ棒などで埋める
※線幅は0.5cm~1cm程度 (細いと波の範囲は狭く、太いと広くなる)

⑨ ヒートガンで波を広げる



“高温/弱風”で白レジンの上を3往復当て、海色レジンと白レジンを馴染ませる。

“高温/強風”でヒートガンを左右に振りながら風を当てる。

※白レジンが海色レジンの上に、薄く膜を張るようなイメージで

※1カ所だけに風が当たり続けられない様に注意(凹み戻らなくなる)

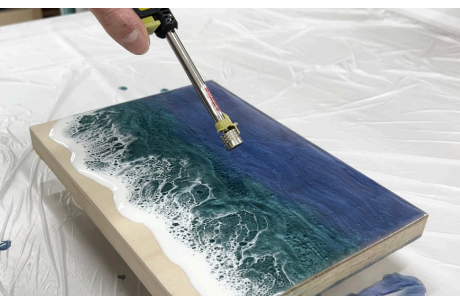
※基本1回勝負！何度も風を当てると波の網目模様は崩れる

※(状況に応じて)剥げた部分に白レジンを足す

※白レジンが硬くなった場合はヒートガンで温めると緩む

※白レジンを足した後はヒートガンを当てない(波が崩れるため)

⑩ ガストーチもしくはバーナーで気泡を飛ばす



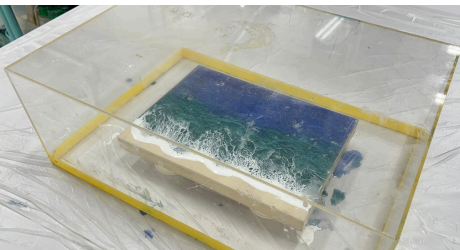
1点に集中して当てると焦げてしまうため、左右に振りながら流すように当てる。

※火を当てるのは沖合(奥側)の部分だけがおすすめ

→波側に当てると波が崩れる恐れあり

※(対面レッスン限定)ラメを振りたい場合は気泡を取った後に振る

⑪ 約2日間硬化を待つ



硬化中にホコリがつかないように箱などでカバーをする。

⑫ 完全硬化後にレジンを剥がす



【マスキングの剥がし方】

ヒートガンなどでテープを温めながらゆっくり剥がし、

レジンが分厚く垂れている部分はカッターで切れ込みを入れて剥がす。

【Resin offの場合のレジンの取り方】

ヘラのようなものでレジンを剥がす。

※ヒートガンなどでレジンを温めると更に取れやすい

※レジン痕が残った場合はヤスリで削る



海SEAプレート完成!



※こちらのテキストを無断で複製し第三者に開示することを禁じます

※レッスンの内容は予告なく変更になる場合がございます

※レッスンで使用していない材料を使用したアレンジ品等のご質問はお控え下さい

エポキシアート協会の情報は
各SNSからご確認頂けます⇒



LINE



Instagram

ハンドメイド素材の店

～ハンドメイドで使用する材料を豊富に揃えています～



オリジナル材料
その他材料の購入はこちら⇒

